

□ 要請番号 (JL51518A11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	H131 栄養士		個別	交替 2代目	2年	・2018/3・2018/4・ 2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ウゲニャサブカウンティ保健事務所

3) 任地 (ウゲニャ) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約9.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

本保健事務所は地域病院に併設されており、保健師や公衆衛生官などによる保健管理チームが、管轄下にある18の保健センターや診療所の保健医療サービスやコミュニティでのプライマリーヘルスケア活動の管理、アドバイスを行っている。同地域の人口は12万8千人で年間予算は約200万円。

過去には、JICA技術協力プロジェクト「ニャンザ州保健マネジメント強化プロジェクト」(2009年7月-2013年6月)のモデル地域であった。同配属先には現在、栄養士(2016年度3次隊)、コミュニティ開発(2016年度4次隊)、看護師(2017年度2次隊)の3名の青年海外協力隊(JV)が活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先の管轄する地域の保健指標はケニア国内で最低水準であり、HIV、肺炎、結核、マラリア、スナノミ症などの疾病が多く、衛生状態も悪い。住民の食事量、栄養バランスもよいとは言えず、栄養指導が必要となっている。隣接する病院を受診する栄養失調やHIVの患者に対する栄養指導やコミュニティでの啓発活動が行われており、活動中のボランティアもそれらに取り組んでいるが、今後も継続しての活動が必要であるため、後任の要請があった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

ボランティアは保健事務所を拠点とし、配属先同僚と協力して以下の活動を行う。

1. コミュニティを訪問し、各地域の状況を把握すると共に課題を抽出し、改善に取り組む。
2. コミュニティ、学校などでの栄養に関する指導、啓発活動を行う。
3. 来院する栄養失調やHIVなどの患者に対する栄養指導を行う。
4. 同配属先や同分野のJVとの情報交換等による連携で、地域の課題解決にむけた活動を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

単車(JICA事務所からの貸与。赴任直後は徒歩圏内を中心に活動する)、オフィス

4) 配属先同僚及び活動対象者

同僚の栄養士2名(女性30代、保健管理チーム所属、女性20代、病院所属)
保健事務所長(40代男性)
保健管理チーム12名(20-50歳代の男女)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(栄養士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：巡回指導、提言を行うため

任地での乗物利用の必要性

単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(15~30℃位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(不安定)

【特記事項】

JICAの判断により、訓練言語を「生活使用言語」に変更する場合がある。